



9月と10月の出前授業の紹介

花巻小学校 フィールドワーク 9月30日（金）9：25～11：10

花巻小学校5年生は、総合的な学習の時間「とび出そう！あとどころ」の学習として、花巻市内に残る花巻城跡を見学し、花巻や花巻城の歴史について学びました。児童は、それぞれの学習したい内容に合わせて、「城下町コース」と「城のつくりコース」の2つに分かれ市内を見学しました。博物館の学芸員が、途中で解説を入れながら見学を進めて行きました。本丸跡では、ちょうど花巻城の発掘調査が行われていて、その様子を見学したり、発掘についての解説もしていただいたりしました。自分たちの学校が、実は昔はお城だった場所に建っていることを知り、驚いている児童もいました。



鳥谷ヶ崎公園から急な階段をあがると。



本丸跡に出ました。



本丸跡で発掘の説明を聞いています。



市役所裏の駐車場、ここは昔お堀でした。



市役所前に有る花巻城時鐘



鳥谷崎神社の円城寺門

花巻小学校の5年生のみなさんから博物館にお手紙をいただいたので紹介します。

学芸員のみなさんへ

私は、博物館で花巻城の歴史について知ることができました。花巻城はもともと鳥谷崎城ということを知って、とても驚きました。北秀愛は、城下町のまち作りをしていたと知りびっくりしました。町のために働いて、いい城代だと思いました。

フィールドワークをして、土塁と堀についてくわしく知ることができました。堀はとても深いことや、市役所駐車場の堀は、幅が30mと分かりました。土塁は、堀をほったときに出た土を使って作っていたことも分かりました。

お忙しい中、わたしたちのためにわかりやすく解説をしてくださりありがとうございました。

花巻小学校5年生 Tさん

西南中学校 「戦争と花巻」 10月13日(木) 13:30~14:30



500ポンド爆弾の実物大パネル



兵隊が身に付けていた物を解説



軍服や入営旗などについてを解説



軍隊手帳や死亡告知書の解説



赤紙や爆弾の破片等について解説

西南中学校1年生は、総合的な学習の時間で、高村光太郎について学習をしています。高村光太郎は、花巻空襲の後に「非常の時」という詩を書いています。高村光太郎に、その詩を書かせた花巻空襲とはどんなものであったのかを学ぶために、今回の出前授業が行われました。

授業は、体育館で学年合同で行い、最初の半分の時間では、スライドを使った解説を行いました。今回は、空襲時に負傷者の救護にあたった看護学生等についても詳しく解説をしました。また、後半は、生徒全員が4つのグループに分かれ、資料を置いた4つのテーブルを、時間を決めて観察して回りました。

西南中学校生徒の感想

私は、今回出前授業を受けて、花巻空襲のことをくわしく知りました。特に驚いたのは、500ポンド爆弾が28発も花巻市に投下されたということです。空襲があったことは知っていたけれど、こんなにたくさんの爆弾が投下されたことを初めて知りました。

また、実際に実物を見て、戦争の恐ろしさが分かったし、当時の様子を想像することができました。今、こうして生活ができていることに感謝したいと思います。

1年A組 Hさん

花巻で空襲があったのは知っていましたが、実際にどんな爆弾が使われていたのかは知りませんでした。実寸の爆弾を見て、こんなに大きな物が空から何発も落ちて来て、さらに爆発するのは、とても怖いと思いました。男性は、戦争に行かされてしまうのは知っていましたが、女性もいろんな物を作らされていたことを初めて知りました。

実際に持ったり、触ったりしてみて、戦争の恐ろしさや生活の苦しさがよく分かりました。

1年A組 Iさん

今回、花巻市博物館から出前授業をしていただきありがとうございます。前から花巻には空襲があったことは知っていましたが、こんなに大変だとは分からなかったの、びっくりしました。

家に帰ってから自分で調べてみました。すごくいっぱい戦争の写真がありましたが、どれもひどかったです。これからも、花巻に空襲があったことを兄弟やいとこなどに話したいです。

1年B組 Aさん